

海外ネットワークに関する万国津梁会議へのご提案

一般社団法人沖縄県貿易協会においては、沖縄県知事が公約としている「世界のウチナーンチュネットワークを活かし、その活力を取り入れた沖縄経済の自立的発展」の実現が 21 世紀ビジョンに掲げる本県の将来像として示すこととなる、極めて重要な政策目標であると考えます。

このためには、有識者等で構成する海外ネットワークに関する万国津梁会議の場での議論が必要であり、そのテーマとして、アジア経済圏のみならず世界でコミュニティーを形成する県人会エリアへの政策的アプローチの拡大が不可欠であるとの認識から、以下の可能性について検討されることを提案します。

1. WUB の機能強化

ウチナーンチュネットワークの一環として設置され、国際的なビジネスネットワークへの発展を担う WUB において、沖縄県企業と海外県人企業間のビジネス創出におけるミッションを深化させ、その機能を今以上に強化する。

これには、沖縄県の政策支援を前提に県庁内における担当部局（窓口）を明確化するなどの体制整備を行いつつ、WUB を中核推進組織と位置付けた上で専門コーディネータの配置などを伴ったビジネス創出等の推進が可能な組織に強化する。

2. 起業家としての海外県人等の把握

WUB が担う国際ビジネスネットワークの活用においては、海外県人会関係者であり、起業家として現地国（地域）でビジネス展開を実現している事業者を沖縄県海外事務所との連携によりリストアップし、これを活用した貿易等のビジネスマッチング等の取り組みに繋げることも有効と考える。

3. 商談の場の創設

海外からの招待客や招聘者が多く集う、「沖縄大交易会」や「世界のウチナーンチュ大会等」の既存の大規模イベントの開催において、WUB が中心となり海外県人事業者等とのビジネス交流の場の提供を重点化する。

4. 以上の実行に向けては、沖縄振興策上の支援制度としての位置付けを行いつつ必要な予算措置や税制優遇措置などを展開することで、これを加速化させるものと考ええる。

以上

海外NWに関する万国津梁会議における方策のイメージ（案）

R2年9月
新垣 旬子
(株)新垣通商
(一社) 沖縄県貿易協会

